

## 美しい多摩川フォーラム・平成23年度総会議事録

- ・日 時 : 平成23年5月21日(土)14:00~16:00
- ・会 場 : フォレストイン・昭和館 2階 シルバンホール(昭島市)
- ・来場者 : 会長、副会長、運営委員、監事、顧問、アドバイザー、一般会員等

(司会・渡辺)開会までまだ少々お時間がございますが、事務局より幾つかご案内をさせていただきます。本日の総会の次第ですが、お手元の資料にもありますように、細野会長の開会挨拶の後、来賓の方のご挨拶があります。そのあと、経過報告をビデオ放映にてご覧いただき、議事に入りますが、第1号議案では平成22年度事業決算(案)、第2号議案では平成23年度事業計画・同予算(案)、第3号議案では、フォーラム規約の一部改正(案)、第4号議案では、運営委員・監事の選任(案)についてご協議を頂きます。後半は、臨時運営委員会を挟んで、新しい会長・副会長の就任ご挨拶、三多摩青年合唱団による「多摩川の歌」合唱、その後、意見交換を予定しており、終了は午後4時頃となります。なお、広報用ビデオを撮影させていただきますので、あらかじめご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 1. 開 会

(司会・渡辺)只今より、美しい多摩川フォーラム・平成23年度総会を開会致します。私、申し遅れましたが、本日の司会進行役を務めさせていただきます、多摩ケーブルネットワークの渡辺理恵と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは、総会開会に当たり、事務局よりご報告させていただきます。

(事務局・及川)フォーラム事務局の及川と申します。どうぞよろしくお願い致します。本日は、会員数957名中、委任状による代理人出席を含め314名の会員が出席され、書面議決書提出の会員334名を加えて、合計648名ということで、当フォーラムの規約第12条2項により、本総会は成立しておりますことを、まずもってご報告申し上げます。

本日の資料の確認ですが、お手元の資料の表紙が、次第になります。次のページから本日の議案となり、第1号議案から第4号議案となります。その次に、「平成23年度会議・シンポジウムの予定」を添付しております。そして最後のページには、カラーの両面刷りパンフレットをお付けしておりますので、ご確認ください。なお、平成22年度の活動実績の各報告書については、ホームページにアップしておりますが、後方のテーブルにもご用意しておりますので、ご自由にお持ちくださいませ。事務局からは以上です。それでは、細野会長、よろしくお願い致します。

## 2. 会長挨拶

(細野会長)会長といたしまして、開会のご挨拶を申し上げます。土曜日の素晴らしい天気の中、平成23年度の総会にご出席くださり、改めてお礼を申し上げます。さて、このフォーラムも、平成19年に設立されてから4年目を迎え、様々な事業が充実してきました。また、新しい事業も次から次へと加わってきております。平成22年度もつつがなく終わろうという時に、3月11日の東日本大震災が起きました。震災後も、色々な問題が新聞紙上をにぎわせ、あるいはテレビで報道されました。バブルが崩壊した時、日本はそれほど悲観的ではありませんでしたが、阪神・淡路大震災を経験し、日本はいっぺんに悲観的な雰囲気になりました。日本経済が、世界の動きと全く無関係にピタッと止まってしまったのは、恐らくその時が初めてではなかろうかと思います。今回もそうです。年初、日本の景気が少し上向いたかなという時に、東日本大震災が起こってしまいました。新聞を見ると、亡くなられた方・行方不明の方が2万5千人、また、自分の住んでいた土地を去らなければならない人が約13万人もいらっしゃるそうです。私たちは、それに対して何らかの形で支援をしていく必要があります。後ほど事務局から、我々フォーラムが東北の人たちのために何が出来るのか、ということが企画出来るのかを紹介すると思いますので、皆さまのお力をいただきたいと思います。ただ、我々フォーラムは、設立当初から、自然の力の大きさを念頭におきながら、自然とどう共生出来るのかという基本的な哲学をベースに活動しています。多摩川流域400万人が今後どうやって生活していくのか、将来に向けてどうやって子どもを育てていくのかを、フォーラムで色々と考えていきましょう、色々試していきましょう、というものです。この活力を、ぜひ東日本の被災地に届けたいと思います。事務局で義援金の箱を用意していますので、皆さまのご厚情をお願いいたします。また、平成23年の総会を迎え、皆さまにお願いしたいことは、「日本は大震災でも負けないんだ！明日を創るためにみんなで一致団結するんだ！」と、想いを新たにしていきたいと思います。まさかこういう形で皆さまにお話することになるとは思いませんでした。東日本大震災以降、平成22年度の事業は全て中止となりましたが、この屈伸した期間を利用し、次の跳躍に繋げていきたいと思います。今日はお忙しい中、お集まりいただきまして有り難うございました。心からお礼を申し上げます。有り難うございました。

## 3. 来賓挨拶

(司会)どうも有り難うございました。それでは、ご来賓の皆様からここでご挨拶を頂戴したいと存じます。まず初めに、東京都産業労働局観光部振興課観光まちづくり担当課長・中田有紀様に、ご挨拶をお願い致します。

(中田有紀様)こんにちは。東京都産業労働局で、観光まちづくり担当の課長をしております、中田でございます。「住んでよし、訪れてよし」という地域づくりを目指すために、様々な事業を展開しています。本日は、本来であれば、観光部長の横山が、皆さまのお仲間に加えていただくためのご挨拶をする予定でしたが、急遽、海外出張の予定が入りましたため、私からご挨拶をさせていただきます。東京都は、平成19年3月に、東京都観光振興プランを作り、「活力と風格に満ちた

世界都市・東京」の実現を目指しています。私たち観光部は日頃、東京都について、「東京は万華鏡のような魅力のある都市」と申しております。都心のような最先端の産業地域があると同時に、都心からほど近い多摩地域においては、森林や渓谷や豊かな自然が広がっている、様々な魅力を持っている都市なんだと、国内外に PR しています。先ほど申し上げた観光プランの中でも、豊かな水辺空間、多摩の豊かな自然を、従来の観光資源の他に、世界各国に PR していこうとしています。美しい多摩川フォーラムの皆さんは、多摩川流域の皆さんが力を合わせ、連携・協働して地域づくりを行う、大変素晴らしい取り組みをしていると伺っております。この度の震災においては、自粛ムードや国内外の経済状況に暗い影を落としています、皆さまの素晴らしい取り組みを通じて、地域を盛り立て、東京、日本がますます元気になっていくよう、これからの活発な活動を祈念いたしまして、観光部からの挨拶とさせていただきます。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、多摩川上・中流域の自治体を代表して羽村市長・並木心様に、ご挨拶をお願い致します。

(並木市長) 皆様こんにちは。ご紹介をいただきました、羽村市長の並木でございます。昨年の総会でもご挨拶をさせていただきましたが、実は私たち首長は、来賓というより運営委員に任命されており、細野会長のもとで働かなくてはならないのですが、なかなか実情もあり、総会だけは出席させていただいております。本日の首長出席は私だけですので、代表してご挨拶をさせていただきます。羽村市は、玉川上水の取り入れ口に位置しております。今日も羽村市職員が、羽村の堰の横で、共済組合の人たちのバーベキュー大会に参加し、震災後のみんなを元気づけようと頑張っていますが、羽村市は多摩川との縁が深く、美しい多摩川フォーラムにも協力してまいりたいと思っております。東日本大震災の時にも、荒川水系や多摩川水系で放射能の測定が行われましたが、多摩川の水を使用している地域は、羽村市を含め、放射能の検出がなかったと聞き、小さいころから多摩川で遊んでいた私としては、多摩川は、みんなが大事にする川としての価値があるんだと改めて思いました。そういった意味で、この美しい多摩川フォーラムが、素晴らしい広がりを持ちながら、地域を超えて、多摩川を中心に充実した事業が展開出来るようこれからも頑張っていきたいと思いき、今日の平成23年度総会の議案全てが、それに向けて承認または可決され、素晴らしい平成23年度の活動が展開されますよう、ご期待申し上げて挨拶とさせていただきます。本日の総会、誠におめでとうございます。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、多摩川下流域の自治体を代表して大田区都市基盤整備部長・赤阪英夫様に、ご挨拶をお願い致します。

(赤阪英夫様) 皆さまこんにちは。最下流の大田区から参りました、都市基盤整備部長の赤阪と申します。本来であれば、松原区長が出席する予定でしたが、公務対応で、私が代理でこちらに参り

ました。こちらに来ますと、周りがまぶしい緑に覆われ、素晴らしい地域だなと感じます。大田区では、昨年羽田空港が国際化になり、国際力と地域の方の力を街づくりに生かしていこうとしております。ただ、3月の震災の影響で、羽田空港国際線の利用が減っております。多摩川は、年間で1,300人の方が利用される水辺空間で、上・中・下流で色々な顔を持っています。大田区は、産業都市であると同時に自然の都市でもあります。今ですと、アナゴやアサリ、ハマグリなどが採れ、大変自然が豊かになってきています。ぜひ自然の連携、産業の連携、経済の連携を大切にしていきたいと思っております。今回の震災でも、地域の絆や家族の絆が改めて重要だと感じました。その重要性を考えると、色々なチャンネルで絆を深めていく必要があると思っております。本日の美しい多摩川フォーラムのご盛會を機に、また、上・中・下流の連携を機に、今後とも一緒に努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(司会)ご来賓の皆様、どうも有り難うございました。それでは、経過報告に移らせていただきたいと思っております。事務局から説明をお願い致します。

#### 4. 経過報告 (ビデオ放映)

(事務局)前にお座りの役員の皆様、お席を移動してください。それでは、平成22年度総会以降の活動報告をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。放映時間はおよそ20分です。

(ビデオ放映)

(事務局)平成22年度総会以降の主な活動報告をご覧いただきましたが、いかがでしたでしょうか。他のさまざまなフォーラムの活動につきましては、お時間の関係で省略させていただきましたこと、何卒ご容赦くださいませ。以上で経過報告を終わります。

#### 5. 協 議 (議長:細野会長)

(司会)これより本日の総会の議事運営に移りたいと思っております。その前に、議長を選出する必要がありますが、当フォーラムの規約第12条3項により細野会長にお願いしたいと存じます。それでは細野会長、議長席の方へお進みください。よろしくお願いいたします。

(細野会長)細野でございます。それでは、規約によりまして暫らくの間、議長を務めさせていただきます。着席したまま進行させていただきますことをお願いいたします。それでは、限られた協議時間ですが、皆様におかれましては、既に議案にお目を通して頂いているものとして議事運営を行わせて頂きたいと思っておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。早速ですが、事務局より第1号議案の説明をお願いします。

**(1) 第1号議案：平成22年度事業決算(案)**

(事務局)平成22年度事業決算(案)をご覧ください。会費収入は、当初予算1,000,000円に対し、1,683,000円となりましたが、これは、平成22年度中に新たに入会した会員が202先増加したことによるものです。因みに、本年3月末現在の会員総数は957会員になります。

その他の項目では、当初の寄付金は当初予算どおりであり、それとは別に、青梅信用金庫様ならびに関連会社であります新日本商事株式会社様からの「多摩川の歌」CD制作費としての寄付金に、東急百貨店様、大田区民有志様による寄付金、青梅市からの助成金を加え、収入合計額は当初予算を上回る14,611,624円となっております。

一方、支出の部ですが、東日本大震災の影響により、震災日以降に予定されていた年度内の事業活動をすべて中止とし、次期繰越金に計上しております。次に、運営費を見てみますと、総会は、「多摩川の歌」初演に伴う設営費が発生したため、当初予算を上回っております。また、事務雑費につきましては、フォーラム専用のポロシャツ・帽子50着を180,075円で購入したため、当初予算を上回っております。一方、活動費ですが、臨時案件の「多摩川の歌」CD制作費として1,119,900円を計上しております。パンフレット・チラシ印刷につきましては、フォーラム入会パンフレット増刷による費用が発生したため、当初予算を上回っております。平成22年1月から継続していた東京八重洲の信金中央金庫本店におけるパネル展示につきましては、22年度に入り内容を一部リニューアルし、写真パネル等の追加費用が発生したため、当初予算を上回っております。多摩川・狛江いかだレースに協力・出艇費用として100,000円、美しい山形・最上川フォーラム連携事業として88,700円計上した結果、次期繰越金は5,081,404円となりました。このうち500,000円はフォーラムの森づくり積立金として計上されており、この結果、フォーラムの森づくり積立金残高は、累計で1,500,000円となります。なお、次期繰越金のうち、1,921,534円が東日本大震災の影響による事業等中止に伴って発生した繰越金となります。

以上、平成22年度決算の監査につきましては、次ページをご覧ください。4月28日に、当フォーラムの監事で、青梅商工会議所会頭の館 盛和様に監査を受け、監査報告書を頂いております。館様にご報告をお願い致します。

(館監事)只今ご紹介に預かりました監事の館でございます。平成22年度事業決算(案)の監査結果についてご報告致します。平成23年4月28日に22年度収支決算報告に基づき、帳簿及び証拠書類その他を精査した結果、相違ないと認めます。

また、平成22年度活動実績書に基づき、事業の内容について監査した結果、適正であったことを認めます。以上でございます。

(細野会長)はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。(拍手)…有り難うございました。それでは、賛成多数で第1号議案は可決承認とさせて頂きます。では、事務局より第2号議案の説明をお願いします。

**(2)第2号議案：平成23年度事業計画・同予算(案)**

(事務局)平成23年度事業計画・同予算(案)をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費が1,800,000円、青梅信用金庫様より寄付金8,000,000円、これとは別に、「美しい多摩川フォーラムの森」開設に向けた寄付金1,000,000円が計上され、前期繰越金5,081,404円を加え、合計が15,881,404円となります。

一方、支出の部ですが、運営費として、総会ほか合わせて3,050,000円を見込んでおります。

次に活動費ですが、アスタリスクの部分が新規案件となっており、経済では、夢の桜街道・桜の札所マップが1,000,000円、環境では「美しい多摩川フォーラムの森」がオープンするため、一時金として2,600,000円、教育文化では、中学生対象総合教育文化事業として200,000円となり、合計で10,370,000円を見込んでおります。この結果、次期繰越金は2,461,404円となります。なお、3月11日に発生した東日本大震災の影響による平成22年度の事業活動中止に伴う予算未執行分1,921,534円につきましては、この次期繰越金に含まれております。

3月上旬には、平野運営委員より農林水産省の「平成23年度・食と地域の交流促進対策交付金」募集に関する情報が寄せられました。急遽の案件のため、細野会長、平野運営委員と相談し応募したところ、今月の連休明けに内定の通知が届きました。今後、詳細な書類を整えて最終申請しますが、結果的に採択されるかどうか、決定までにしばらく時間がかかる見込みです。また、東日本大震災の影響が、震災前に立案した平成23年度事業計画にも及ぶ見通しにありますので、農林水産省案件も含めて、細野会長に補足説明をお願いします。

(細野会長)まず農林水産省の案件ですが、3月10日に、平成23年度食と地域の交流促進対策交付金事業実施提案書(食と地域の交流促進集落活性化対策)を関東農政局長宛に、平成23年度～平成24年度の2年間に亘る事業計画を申請し、5月9日に採択通知をいただいたところです。6月8日までに、交流促進計画を提出し、交流促進計画が承認されれば、割当内示を受け、交付金交付申請書を提出し、交付決定となりますが、その間まだしばらく時間がかかるようです。提案書の取組内容ですが、具体的には、東京都奥多摩の「自然」「食」「文化」を活かした多摩川上・中・下流域間の観光交流を目指したもので、観光と連携した都市農山村の交流推進(グリーン・ツーリズム)を実現していこうという事業です。

なお、集落協定の内容を示す文書として、フォーラム規約を添付しておりますが、「集落が合意した規約」とは、①目的、②構成員、事務局、代表者および代表権の範囲、③意思決定方法、④解散した場合の地位の承継者、⑤事務処理及び会計処理の方法、⑥その他運営に関して必要な事項、以上の6つの事項が定められていることとされており、①、②、③、⑥については、フォーラム規約で制定しております。④解散した場合の地位の承継者については、フォーラム規約で、フォーラム事務局は青梅信用金庫地域貢献部内としており、現実に青梅信用金庫で地域貢献部に配属された職員がフォーラム事務局を運営していることから、解散した場合の地位の承継者は青梅信用金庫とします。⑤事務処理及び会計処理の方法については、フォーラム規約を補足するものとして、事務処理規程、会計処理規程を制定します。

一方、3月に発生した東日本大震災以降、「東北復興のためにフォーラムとして何か出来ることはないか」との会員の声が事務局に多数寄せられました。フォーラムとしては、現在、義援金取り纏めを行っており、本日も募金箱を事務局が受付に用意しておりますので、ぜひ、募金にご協力をお願い致します。集まった義援金については、今年の秋口にまとめて日本赤十字社に送金する予定です。さらに、具体的な支援策についても要望が寄せられましたので、フォーラムとして、東北復興の願いを込めて、何らかの支援スキームがつかれないか、事務局に指示しました。具体的には、当フォーラムと連携協力協定を結んでいる、山形の「美しい山形・最上川フォーラム」と連携し、「多摩川夢の桜街道」に倣って、「東北・夢の桜街道プラン」を検討しています。現在、JR 東日本、JTB、はとバス等とワークショップを立ち上げ、具体化したいと考えています。

したがって、農林水産省案件、多摩川夢の桜街道事業全体の見直しを含めた東北・夢の桜街道プラン、次期繰越金の活用等について、7月に臨時運営委員会を開催し、平成23年度事業計画・同予算(案)の網掛け部分を修正したいと考えておりますので、この点は7月の臨時運営委員会にご一任を賜りたく、これを前提に平成23年度事業計画・同予算(案)について、ご承認をお願いしたいと存じます。

なお、網掛けしていない部分は今回ご承認いただければ、7月に修正することはありません。以上よろしくお願い致します。

(事務局)皆さん、7月の臨時運営委員会に向けて、これはという事業や、ご意見等がございましたら、今月末までに事務局までご提出くださいませ。平成23年度事業計画・同予算(案)の趣旨説明を続けさせていただきます。次ページの「平成23年度事業計画(案)の実施内容について」、その次のページの「平成23年度事業計画(案)の趣旨説明」をご覧ください。さらに、その次のページにある「美しい多摩川100年プランの進捗状況」も併せてご参照ください。

- 美しい多摩川フォーラムが平成19年7月に設立され、3年半が経過しました。当フォーラム設立以来、民間会員と行政会員がそれぞれ対等の立場で議論を重ね、当フォーラムの基本計画づくりに取り組み、平成20年4月には、進化・発展する計画として「美しい多摩川100年プラン」を策定し、経済、環境、教育文化の3つの観点から実践活動を展開しております。
- 当フォーラム設立以来3年間に亘って、多摩川流域の東京都13市で構成される「多摩川流域都市協議会」(会長: 狛江市)より、調査研究事業委託を通じたご支援を頂き、初年度は「基本構想段階」、20年度は「トライアル事業段階」、21年度は「基盤事業策定段階」と、4年目からのフォーラムの自立に向けて大きな力を頂き、22年度の「安定稼働段階」への移行が円滑に進みました(次頁の「美しい多摩川100年プランの進捗状況」をご参照ください)。
- こうした状況下、平成23年度については、フォーラムの安定稼働をより強固なものにしていくため、「100年プラン」で示されているコア事業をベースに原案を取り纏めました。原案策定のポイントは、4年間の実践的な事業活動の成果や3つの活動部会で提案された意見等を踏まえ、フォーラム運動の3本柱別に事業を選定しました。

なお、新規事業案件としては、①過年度から要望が強かった「多摩川夢の桜街道～桜の札所

マップ」の作成、②森林の保全・創造を企図した「美しい多摩川フォーラムの森(青梅)」の開設植樹イベント、③中学生を対象とした総合教育文化モデル事業の開催、を採り上げております。

このように、平成23年度は、当フォーラムが自立した「安定稼働段階」の底固めを図る重要な事業年度と位置付け、これまで以上に堅実なフォーラム運営を心がけてまいります。

以上で第2号議案の説明を終わります。

(細野会長)はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。(拍手)…有り難うございました。それでは、賛成多数で第2号議案は可決承認とさせていただきます。先ほどもご説明したとおり、7月に臨時の運営委員会を開催し、事業計画の一部が修正されますこと、ご了承くださいませ。

### (3)第3号議案:フォーラム規約の一部改正(案)

(事務局)お手元の資料の【第3号議案】フォーラム規約の一部改正(案)をご覧ください。1点目は、当フォーラムの民間会員が大幅に増加する中、フォーラムの運営をより適切かつ円滑に遂行するため、運営委員として、有識者等の拡充を図る必要があることから、運営委員(民間)の定数を拡大し、20名以上30名以内とします。2点目は、当フォーラムの運営委員(民間)の定数拡大に伴い、会長を補佐する副会長の体制を強化する必要があることから、副会長を1名増員し、5名とします。3点目は、運営委員会の成立要件の表記に不明確な部分があることから、これを明確化する、というものです。私からの説明は以上です。

(細野会長)はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。(拍手)…有り難うございました。それでは、賛成多数で第3号議案は可決承認とさせていただきます。では、事務局より第4号議案について説明をお願いします。

### (4)第4号議案:運営委員・監事の選任(案)

(事務局)お手元の資料の【第4号議案】運営委員・監事の選任(案)をご覧ください。フォーラム規約第7条5項によりまして、運営委員、監事の皆様におかれましては、本日で任期満了となりましたので、議案にあるとおり、今後2年間の任期の運営委員・監事の選任(案)をご提出致します。その中で、新任の運営委員・監事候補の方をご紹介します。まず運営委員ですが、行政より、東京都産業労働局観光部長の横山英樹様、東京都西多摩建設事務所長の老沼宏二様、東京都国立市長の佐藤一夫様、東京都国分寺市長の星野信夫様、東京都稲城市市長の高橋勝浩様、民間からは、青梅子どもの水辺協議会会長の渡邊勇様、日本たばこ産業株式会社・立川支店長の栗田利昌様、社団法人大多摩観光連盟・専務理事の栗原秀二様、次に監事ですが、北斗理研株式会社・代表取締役の山崎眞義様、以上の9名様になります。

私からの説明は以上です。

(細野会長)はい、有り難うございました。何か皆様の方からご質問はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。(拍手)…有り難うございました。それでは、賛成多数で第4号議案は可決承認とさせて頂きま

す。  
(事務局)ここで、このたび新たに運営委員・監事に就任されました9名の方に自己紹介をお願いしたいと思います。まず、東京都産業労働局観光部長の横山英樹様ですが、本日は所用によりご欠席となりますので、代理出席の観光部振興課観光まちづくり担当課長・中田有紀様にお願い致します。

**(東京都産業労働局観光部振興課観光まちづくり担当課長・中田有紀様)**

再度のご挨拶をさせていただきます。東京都観光部でございます。今後とも、よろしく願いいたします。

(事務局)有り難うございました。東京都西多摩建設事務所長の老沼宏二様ですが、本日は所用によりご欠席となりますが、メッセージをお預かりしておりますので、ご紹介致します。

『今年の4月1日に東京都西多摩建設事務所長に就任しました。多摩川をシンボルに、美しい多摩づくりを目的とした「美しい多摩川フォーラム」の活動が益々発展し、より一層の成果を挙げられることを願っています。』

続いて、東京都国分寺市長の星野信夫様ですが、本日は所用によりご欠席となりますので、代理出席の都市建設部緑と水と公園課 緑と水係長・松本徹様にお願い致します。

**(国分寺市都市建設部緑と水と公園課 緑と水係長・松本徹様)**

ただいまご紹介いただきました、国分寺市都市建設部緑と水と公園の松本と申します。国分寺市は、この度、美しい多摩川フォーラムの趣旨・目的に賛同し、入会させていただきました。国分寺市は、多摩川の支流・野川の最上流部で、日立中央研究所の湧水、環境省名水100選のひとつとして選ばれた「お鷹の道・真姿の池湧水群」の地下水・湧水が水源となっています。市としては、それらの水源を守るため、色々な政策を講じておりますが、今後は、美しい多摩川フォーラムの事業を通じ、美しい多摩川づくり、また、美しい多摩づくりを推進していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(事務局)有り難うございました。続いて、青梅子どもの水辺協議会会長の渡邊勇様です。よろしくお願い致します。

**(青梅子どもの水辺協議会会長・渡邊勇様)**

ただいまご紹介いただきました、渡邊勇です。私は今まで、市民団体として川で魚や、水生昆虫、水質検査、ゴミ拾い等をやっておりましたが、今回運営委員としてご指名いただきましたので、何

かお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)有り難うございました。続いて、日本たばこ産業株式会社・立川支店長の栗田利昌様です。

(日本たばこ産業株式会社立川支店長・栗田利昌様)

皆さんこんにちは。JT 立川支店の栗田でございます。私ども JT は、全国的に環境美化・環境保全に一生懸命取り組んでいるところでございます。この多摩川も、未来の子どもたちに美しい状態で残すように、微力ながら一生懸命活動してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)有り難うございました。社団法人大多摩観光連盟・専務理事の栗原秀二様です。

(社団法人大多摩観光連盟専務理事・栗原秀二様)

ご紹介いただきました、栗原と申します。よろしくお願いいたします。先ほど平成23年度事業計画・同予算(案)で可決いただきました、「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り」MAPの作成に私どもは関わっていきたく思っておりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

(事務局)有り難うございました。続いて、北斗理研株式会社・代表取締役の山崎真義様です。

(北斗理研株式会社代表取締役・山崎真義様)

ご紹介いただきました、北斗理研株式会社の山崎でございます。平成22年度まで運営委員を務めておりましたが、今回、監事の役を引き受けさせていただきました。私たちの会社は、全国の水質を調査する機械を作っており、北は帯広から南は沖縄まで、各ダム・河川に沢山の機械を入れています。この多摩川にも全部で10機の水質計が入っております。この水質計は、東京都の水道局が管理しており、我々が勝手に水質データを出すわけにはいきませんが、私たちが調査を始めた15年ほど前から比べると、多摩川の水は非常にきれいになってきております。こういった中で、美しい多摩川フォーラムが「美しい多摩川100年プラン」を作りました。私ができることは微力ですが、このフォーラムと一緒に努力し、なんとか次の世代に持って行くべく頑張りますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)有り難うございました。最後に、東京都国立市長の佐藤一夫様、東京都稲城市長の高橋勝浩様ですが、本日は所用によりご欠席ですが、フォーラムへの応援メッセージを頂戴しました。有り難うございました。

(細野会長)はい、有り難うございました。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

以上で、全ての議案が承認されましたので、事務局にボタンタッチします。有り難うございました。

(事務局)それでは、この後、別室にて、臨時運営委員会を開催し、会長選出等のご協議を頂きます。

すので、運営委員、監事の皆様におかれましては、事務局でご案内致しますので、お隣の別室にご移動をお願い致します。臨時運営委員会開催の間、会員の皆様におかれましては、暫らくの間、フォーラムのビデオ放映をご覧いただければ幸いです。

### －休憩(10分～15分)－

## 6. 臨時運営委員会開催

### (1) 新会長選出

(細野会長) 只今より、臨時運営委員会を開催致します。早速ですが、フォーラム規約第7条3項によりまして、新会長の選出を行いたいと存じます。新会長の選出にあたり、ご意見をお持ちの方はいらっしゃいますか。……それでは、どなたかご推薦を頂けませんでしょうか。

(小倉副会長) はい。引き続き細野先生に会長をお願いしたいと思います。

(細野会長) 有り難うございました。小倉先生より引き続き私、細野をご推薦頂きました。他にご推薦、ご意見等ありますでしょうか。……もしないようでしたら、私、細野でご承認頂けますでしょうか。(拍手) ……有り難うございました。それでは、フォーラムの会長を引き続き私が担当させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

### (2) 副会長の指名

(細野会長) それでは、先ほどの副会長の増員決定を踏まえまして、フォーラム規約第7条4項により、副会長5名をご指名させていただきます。

それでは、副会長には、東京農工大学名誉教授 小倉紀雄様、明星大学副学長 佐久間美智子様、山形弁研究家 ダニエル・カール様、青梅信用金庫理事長 森田昇様に加えて、新たに、語り部・大阪芸術大学教授の平野啓子様をお願いしたいと存じます。

名誉会長、顧問、アドバイザーの皆様には引き続き、よろしくお願い致します。なお、フォーラム設立当初より、ご支援をいただいた前預金保険機構理事長 永田俊一様が、3月1日付で顧問に就任されましたので、ご報告致します。

次に、3つの活動部会の部会長についてですが、引き続き私、細野と、福田珠子様、下重喜代様の3名で担当したいと存じますので、よろしくお願い致します。また、今年度より、活動部会の体制を強化するため、フォーラム規約第14条4項により、副部会長をおくこととし、地域経済活性化部会・副部会長に宮坂不二生様、環境清流部会・副部会長には渡邊勇様、教育文化部会・副部会長を山崎充哲様をお願いしたいと存じます。お三方にはどうぞよろしくお願い致します。

以上で臨時運営委員会を終了致します。このあと、皆様には総会会場の方へお移り頂ければと存じます。

## 7. 臨時運営委員会の結果報告

(事務局)只今開催された臨時運営委員会におきまして、フォーラム規約第7条3項により、運営委員の互選によりまして、会長が選任されました。また、規約第7条4項により新しい副会長も指名されました。その結果をご報告致します。会長には、引き続き、中央大学大学院公共政策研究科教授 細野助博様、副会長には、引き続き、東京農工大学名誉教授 小倉紀雄様、明星大学副学長 佐久間美智子様、山形弁研究者 ダニエル・カール様、青梅信用金庫理事長 森田昇様が就任されたほか、新たに、語り部・大阪芸術大学教授の平野啓子様が就任されました。名誉会長、顧問、アドバイザーの皆様には引き続き、よろしくお願い致します。

なお、フォーラム設立当初より、ご支援をいただいた前預金保険機構理事長 永田俊一様が、3月1日付で顧問に就任されましたので、皆様にご報告致します。

次に、3つの活動部会についてですが、細野会長、福田運営委員、下重運営委員が各部会長に就任されました。なお、今年度より、規約第14条4項に基づき、各部会長をサポートする副部会長をおくことと致しました。ただいまお手元にお配りしている資料が、当フォーラムの新しい役員体制、活動部会の体制になりますので、よろしくお願い致します。ここで、細野会長、新副会長の平野様にご挨拶を頂戴したいと存じます。細野会長、よろしくお願い致します。

(細野会長)引き続き会長を仰せつかりました細野でございます。何か代わり映えがしないな、とお思いの方もいらっしゃるかもしれませんが、副会長が1名増員されました。とても美しい方が副会長に加わりました。また、部会が3つありますが、副部会長が加わり、組織の強化を一層高めていくことになりました。先ほど大震災の話をしました、昨日まで正解だったものが、そのまま今日、明日も正解であるとは限りません。我がフォーラムもそうです。組織を一段と強化し、地域の皆さまのお役に立つには、一層の努力が必要となります。それには、会員の皆さまのご支援とご協力がなければ実現できません。執行部も努力いたしますが、皆さまにおかれましても様々なアイデアを出していただきたいと思っております。このフォーラムは、開かれたフォーラムです。ご遠慮なく、色々なご意見をお寄せください。新役員を代表しまして、これからもどうぞよろしくお願い致します。

(事務局)細野会長、どうも有り難うございました。続きまして、平野新副会長にご挨拶をいただきます。よろしくお願い致します。

(平野新副会長)私ごときが副会長になっていいのだろうか、このお話自体に驚きましたが、一所懸命務めさせていただきます。先ほどビデオを見ておりましたら、ゴミ拾いにあれだけ多くの方が参加し、参加された方々のすぐ横を流れる多摩川の風景を見ますと、多摩川自体がまるでお風呂上りに垢を落としてもらって、「気持ちいい！」と、声を出して流れているような気がしました。川そのものを生き物のように感じ、川の声聞いたような気がするの、今日の映像が初めてです。見えないところで一所懸命川をきれいにしてくださる方々がいるからこそ、川はきれいになるのだと思っております。川がきれいになれば、心が豊かになり、周辺の文化ももっと盛り上がっていくのでは

ないかと思えます。文化が盛り上がれば、当然経済にも結び付くと私は信じております。私がびっくりしたのは、日本計画行政学会という、大変厳しい審査のある専門の学会で、大きな賞を受賞したと聞き、本当に素晴らしい名誉のある団体の副会長にさせていただき、身が引き締まる思いです。これから、より沢山の人が加わり、人出も増え、出来れば色々な所からお金も集まれば良いと思ひ、私も微力ながらお力になれればと思ひます。皆さんのご指導をいただきながら、進めてまいりたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局)細野会長、平野新副会長、ご挨拶有り難うございました。フォーラム会員一同、細野会長の元で、引き続きフォーラム活動に邁進していきたいと存じますので、よろしくお願ひ申し上げます。それでは、役員の皆様にもエールの拍手をお願ひいたします。

## 8. 「多摩川の歌」合唱（三多摩青年合唱団）

(司会)皆様お待たせ致しました。それでは、三多摩青年合唱団による「多摩川の歌」合唱を行いたいと存じます。準備のため、いましばらくお待ちくださいませ。三多摩青年合唱団は、結成されて48年。『歌は生きる力』をモットーに、演奏活動を行っています。団員は約70名で、10代から70代まで、学生、先生、保育士、年金生活者、大工さんなどバラエティーに富んでいます。結成50周年に向け、現在、青年合唱団の名前にふさわしい、若い団員を募集しているとのこと。それでは、よろしくお願ひ致します。

(三多摩青年合唱団)ただいまご紹介いただきました、三多摩青年合唱団です。昨年のこの場で、「多摩川の歌」を歌う機会をいただき、改めて心から感謝を申し上げます。有り難うございました。この歌は、私たち合唱団にとって、皆さまと出会えたこと、歌を通して色々な人と繋がったこと、色々な大きなことをもたらしてくれました。美しい多摩川フォーラムの活動資料を見ますと、「こういうことなら私にも出来るな」という活動から、「多摩川夢の桜街道」といった、とても大きな、夢の詰まった活動も提案され、実行されています。拝見した資料の中で何よりも一番心に残ったのは、子どもたちの生き生きと輝く姿が紹介されていることでした。

今、物があふれて便利になりすぎた生活の中で、私たちは、山の緑や海の青さに心が癒されず。自分が生まれ、生き、育ってきた命や街が、一瞬のうちに無くなってしまった3月11日。本当に想像を絶するものがありました。被災地の皆さんが一日も早く日常の生活に戻れるよう願っています。音楽で何が出来るのだろうか、私たち合唱団にとっても、日々厳しく問われています。「ふるさと」という言葉や歌が、かつてないほど心に響いてきます。今日、「多摩川の歌」の前に、「ふるさと」を歌わせていただきます。この「ふるさと」は、「多摩川の歌」と同じく、寺嶋陸也さんが編曲されたものです。それでは、どうぞお聞きください。

…… 合唱 ……

(1)ふるさと

(2)多摩川の歌

(司会) 皆さん、有り難うございました。如何でしたでしょうか。「ふるさと」と「多摩川の歌」を歌っていただきました。心に沁みいるような歌声でした。フォーラムでは、この3月にCDを制作したほか、今年度は広報用のDVDも作るとのこと。今後、皆さんと一緒に、「多摩川の歌」の普及に努めて参りたいと存じます。

それでは、以上をもちまして、「多摩川の歌」合唱を終わります。改めて、三多摩青年合唱団の皆さんに盛大な拍手をお願い致します。それでは細野会長、よろしく願いいたします。

## 9. 意見交換（細野会長）

(細野会長) 先ほども申しましたように、このフォーラムは開かれたフォーラムです。皆さまのアイデアでこの活動を進めることができます。事務局から色々な活動内容が報告されましたが、なお「こういうことが欲しい！」ということがありましたらどうぞ。

(藤井様) 他に質問がないようですので、少しだけお話をさせていただきます。大田区から来ました藤井と申します。地域経済活性化について、話をさせていただきます。この会の始めに、大田区の方が羽田空港の話をされました。国際空港ですから、これからどんどん外国からお客様がいらっしゃいます。今は大震災の影響で減っていますが、これから間違いなく増えてくると思います。多摩地区についても、国際化に備え、JR・私鉄では駅名の下に英語の表記をする、バスについても、英語の表記を加えるなど、国際化に向けた対応が必要であろうと思います。

2点目は、東京銀座のど真ん中で、路面電車を走らせようという構想があります。多摩地区でも、多摩甲斐国立公園があるので、青梅から多摩までレトロ列車を走らせるのも良いのではないかと思います。

3点目は、色々な方に多摩に来ていただくにはどうしたら良いかと考えると、多摩地区周遊切符(1日券、2日券、3日券など)を発行し、多摩地区のJR・私鉄・モノレール・バスについては、この金額を払えば乗り放題にしたら良いのではないかと思います。さらに学割、女性割引、ペア割引などの制度を設ければ、多摩地区に色々なお客様が訪れ、地域経済活性化に繋がるのではないのでしょうか。京王電鉄や相模鉄道でも、利用客が減っているそうです。こういった案を出せば、輸送関係の会社が乗ってくると思うので、ぜひご検討いただければと思います。

(細野会長) 有り難うございました。他にいかがでしょうか。

(山崎運営委員) こんにちは。「おさかなポスト」をやっている山崎と申します。多摩川の外来種問題に取り組んでいます。現在、被災地から「おさかなポスト」に魚が集まってきており、こちらでも出来る限りの対応をしています。

今日は提案というより、皆さんにひとつお願いがあります。先ほどの歌の中で、「青き水」というくだりがありました。多摩川の水はとても素晴らしい水なのですが、都民の皆さんが使った後、その水はどこへ行くのでしょうか？全て下水処理場できれいにされ、多摩川に戻されます。しかし、今回

計画停電が行われましたが、その期間は下水処理場も止まります。皆さんの水の使い方ひとつで、多摩川はきれいにもなりますし、最悪の場合、30年かかって蘇った多摩川が、死の川に逆戻りするかもしれません。小さなことで構いませんので、お風呂の残り湯を洗濯に使ってみたり、シャワーを浴びる時も、体を洗っている時には蛇口を止めるなど、ちょっとした心掛けで多摩川の水を守ることができますので、よろしくお願いいたします。

この度私は、教育文化部会の副会長に任命されました。今後ともよろしくお願いいたします。

(事務局)皆さん、貴重なご意見を有り難うございました。今後のフォーラム活動に反映させて参りたいと存じますので、よろしくお願い致します。

## 10. 会長総括（細野）

(司会)さて、早いもので、総会のお開きの時間も迫ってきております。ここで、細野会長に総括をお願いしたいと存じます。

(細野会長)14時から始まった総会も、めでたくお開きの時間となりました。様々な内容が話されました。その中でいくつかキーワードがありました。「絆」「自然の美しさ・怖さ」「支援」など。震災で心理的に打ちひしがれた人たちが沢山います。多摩川から再び元気を取り戻そうという運動を、皆さんと共に始めたいと思います。恐らく平成23年度の活動は、日本を元気にする、その一助になるような活動になると思います。引き続き、皆さまの限りないご支援とご協力をいただきたいと思っています。美しい多摩川フォーラムの認知度も上がってまいりましたし、ご協力をいただく体制も徐々に出来つつあります。このご恩を、いま被災地で困難に直面している人たちに返していきたいと思っていますので、どうかよろしくお願いいたします。今日はお忙しい中、有り難うございました。

## 11. 閉会挨拶（森田副会長）

(司会)有り難うございました。それでは閉会挨拶と致しまして、森田副会長にお願い致します。

(森田副会長)閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、美しい多摩川フォーラム・平成23年度総会を開催させていただきましたところ、役員・会員の皆さまには土曜のお忙しい中をご出席いただき、有り難うございました。お陰様で、全ての議案が承認・可決いたしました。また、新しい体制でスタートすることとなります。3月11日に起きた東日本大震災以降、一部の事業を中止させていただきました。しかし、先ほど会長からお話がありましたように、現在、東北復興に向けた企画を検討中です。まとまりましたら、ぜひ皆さんと一緒に事業を進めてまいりたいと考えています。また今後は、我々がフォーラムを通して事業を推進することで、地域の活性化、東北の応援をしてまいりたいと考えています。これからも皆さまに、このフォーラムをご支援ご協力をお願いすることを最後に申し述べさせていただきます、閉会の挨拶とさせていただきます。本日は、お忙しい中、大変有り難うございました。

## 12. 閉 会

(司会)皆様、本日は長時間に亘りまして、会議進行にご協力を頂きまして、誠に有り難うございました。これをもちまして、本日の美しい多摩川フォーラム・平成23年度総会を閉会とさせて頂きま  
す。有り難うございました。

以 上

上記の内容について相違ないと認めます。